



平成27年11月12日

各 位

上場会社名 昭和シェル石油株式会社  
 代表者 代表取締役社長グループCEO 亀岡 剛  
 (コード番号 5002)  
 問合せ先責任者 執行役員経理財務統括部長 坂田 貴志  
 (TEL 03-5531-5594)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年5月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成27年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,350,000	41,000	41,000	27,000	71.69
今回修正予想(B)	2,200,000	0	△1,000	△9,000	△23.90
増減額(B-A)	△150,000	△41,000	△42,000	△36,000	
増減率(%)	△6.4	△100.0	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成26年12月期)	2,997,984	△18,057	△16,723	△9,703	△25.76

平成27年12月期通期個別業績予想数値の修正(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,150,000	30,000	20,000	53.09
今回修正予想(B)	2,010,000	3,000	△4,000	△10.62
増減額(B-A)	△140,000	△27,000	△24,000	
増減率(%)	△6.5	△90.0	—	
(ご参考)前期実績 (平成26年12月期)	2,758,456	△40,417	△24,154	△64.12

修正の理由

前回公表時(平成27年5月14日)と比較し、原油価格が想定価格を下回ることに伴う棚卸資産評価の影響と製品マージンの縮小等により石油事業において減益となること、また、太陽電池事業においても販売単価の下落による減益が見込まれることから、平成27年12月期の通期における売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益が前回予想を下回る見通しとなりました。棚卸資産評価の影響を除いた場合の連結経常利益相当額につきましては420億円程度となる見込みであります。

上記見通しは、ドバイ原油52ドル/バレル、為替レート121円/ドルを前提としています(前回公表時 ドバイ原油59ドル/バレル、為替レート119円/ドル)。

なお、1株当たり年間38円の配当見通し(1株あたり19円の間配当は実施済み)については、前回発表からの変更はありません。

(注)

上記の業績予想は、本資料の発表日現在における情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、当社グループの業績は、経済情勢や市場動向並びに為替レートの変動等の要因により記載の予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上